

日本の
ひなた
宮崎県

みやざきの うごき 2024



contents

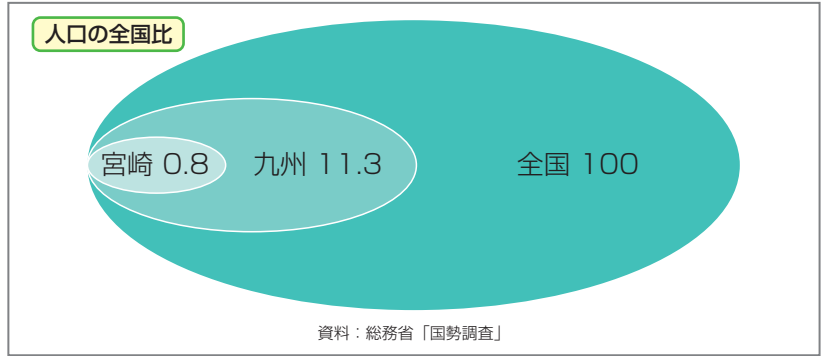
- 1 宮崎県のすがた
- 2 人口のうごき
- 3 経済のうごき
- 4 宮崎県総合計画
- 5 3つの「日本一」挑戦
プロジェクトの本格展開!
- 6 宮崎再生、そして次なる
成長活力の創出に向けて
- 7 行財政改革の推進
- 8 宮崎県の財政
- 9 宮崎の主な県政のうごき
- 10 宮崎県のあゆみ
- 11 全国から見た宮崎県

1 宮崎県のすがた



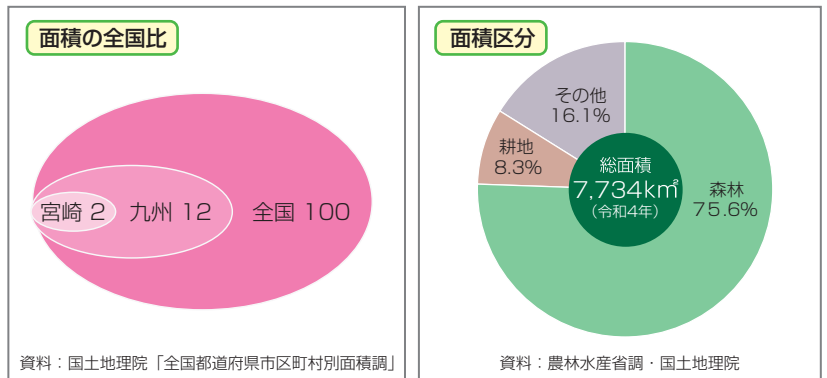
1 人口

- 県の人口は、1,070千人（令和2年10月1日）で、全国人口の約0.8%となっています。



2 面積等

- 県土面積は、7,734km²で、国土の約2%を占めており、9市14町3村で構成されています。
- その中で、森林(5,844km²)が75.6%、耕地(644km²)が8.3%となっており、緑豊かな地勢となっています。



3 気候

- 平均気温が高く、温暖な気候に恵まれ、日照時間は全国でもトップクラスにあるなど、優れた自然条件を有しています。
- 降水量も多く、豊富で良質な水資源に恵まれています。

| | | |
|------|---------|--------|
| 日照時間 | 2,122時間 | (全国6位) |
| 平均気温 | 17.7℃ | (全国3位) |
| 降水量 | 2,626mm | (全国2位) |

資料：気象庁「日本気候表」（宮崎市、平成3年～令和2年の平均）

4 自然環境

- 本県は、緑豊かな山々や美しい海岸線など優れた自然環境に恵まれており、自然公園面積は91,919haで、県土の約12%を占めているほか、105haの海域公園地区が指定されています。
- 全国に先駆けて制定した沿道修景美化条例などに基づいて、沿道の修景、自然環境の保全と創出に努め、郷土の美化を推進しています。



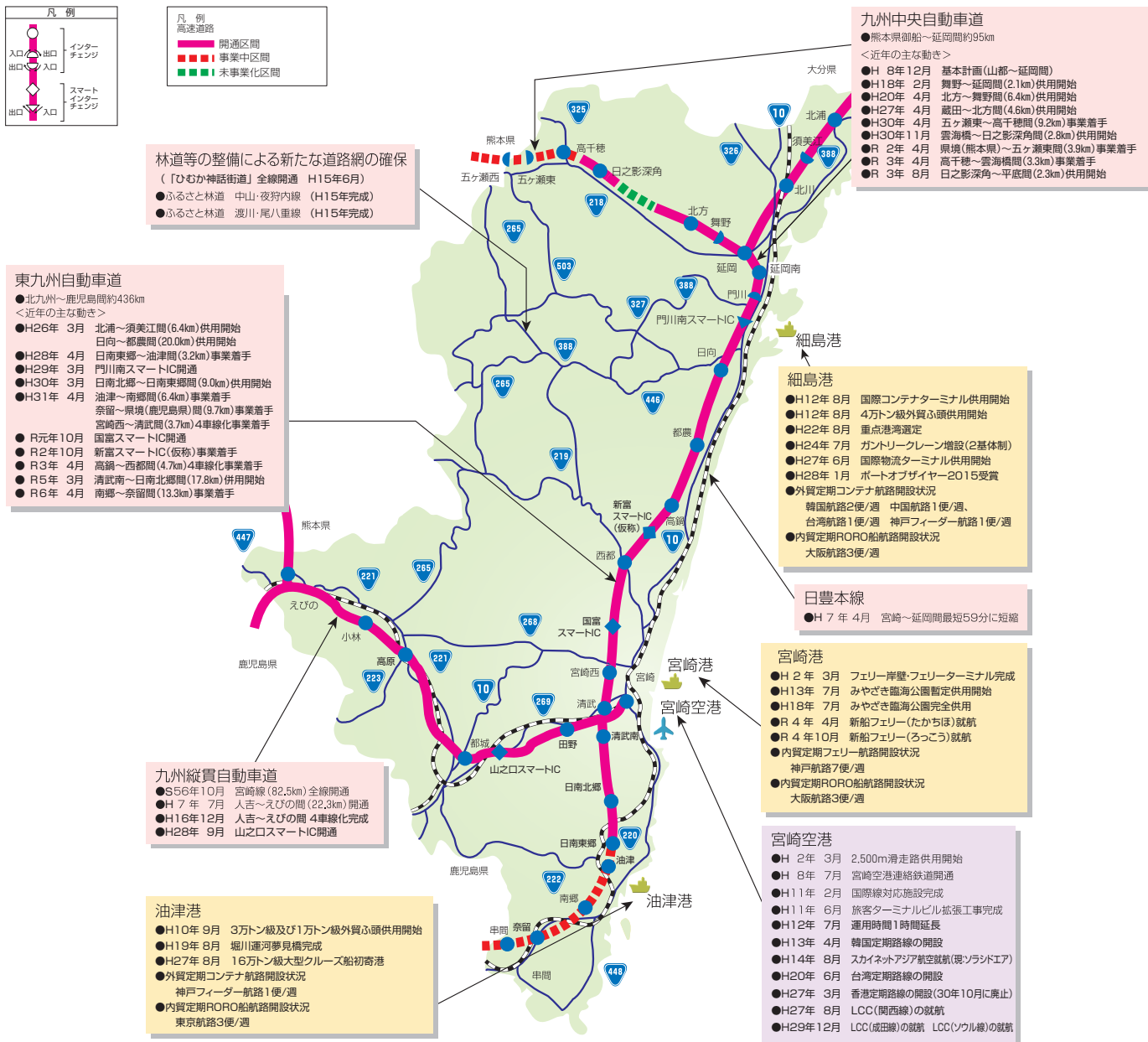
沿道修景植栽地区

| | | | |
|------|----------|-------------|---|
| 国立公園 | 1公園 | 13,006ha | (霧島錦江湾) |
| 国定公園 | 4公園 | 31,968ha | (日南海岸、祖母嶺、日豊海岸、九州中央山地) |
| | 海域公園地区 | 2公園 12地区 | 105ha (日南海岸、日豊海岸) |
| 県指定 | 県立自然公園 | 6公園 | 46,945ha (尾鈴、西都原杉安峡、母智丘関之尾、わにつか、矢岳高原、祖母嶺) |
| | 自然環境保全地域 | 2か所 | 184ha (檜葉、掃部岳北部) |
| | 緑地環境保全地域 | 4か所 | 21ha (森谷観音、大斗滝、三之宮峡、長谷観音) |
| | 沿道自然景観地区 | 18か所 | 1,026ha |
| | 沿道修景植栽地区 | 70地区 | 155.8km |

資料：自然環境課 (R6.3.31) 道路保全課 (R6.3.31)

●総合交通網の整備状況

東九州自動車道及び九州中央自動車道をはじめとする高速道路や国道などの整備による「県内1時間構想」の実現、空港・港湾の整備等に向けて、積極的な取組を行っています。



| | | | | | | | | | |
|--------|---------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------|-----------------|------------------------------|----------------|---------------|
| 空路 | 東京(羽田) | 東京(成田) | 名古屋(中部) | 大阪(伊丹) | 大阪(関西) | 福岡 | 沖縄(那覇) | ソウル | 台北 |
| | 90分 (日17往復) | 105分 (日1往復) | 75分 (日3往復) | 60分 (日11往復) | 65分 (日1往復) | 40分 (日13往復) | 85分 (日1往復) | 100分 (週3往復) | 120分 (連休中) |
| 高速バス | 福岡(博多天神) | 長崎 | 熊本 | 新八代(B&S) | 高千穂 | 福岡 | 熊本 | | |
| | 4時間19分 (21往復) | 5時間17分 (2往復) ※季節運行 | 3時間23分 (10往復) | 2時間15分 (15往復) | 2時間40分 (1往復) ※季節運行 | 4時間21分 (4往復) | 4時間5分 (2往復) ※うち1往復季節運行 | | |
| 鉄道 | 博多(九州新幹線経由) | 博多(日豊本線経由) | 博多(B&S) | 小倉 | 大分 | 鹿児島中央 | | | |
| | 3時間32分(415km) | 5時間14分(407km) | 3時間11分 | 4時間27分(340km) | 2時間59分(207km) | 2時間2分(126km) | | | |
| カーフェリー | 神戸 | RORO 船 | 大阪 | RORO 船 | 大阪 | RORO 船 | 東京 | | |
| | 495km 宮崎(宮崎港)～ 12時間20分 (週7便) | 494km 宮崎(宮崎港)～ 20時間 (週3便) | 457km 日向(細島港)～ 14時間30分 (週3便) | 974km 日南(油津港)～ 25時間 (週3便) | | | | | |
| 外貨定期航路 | 釜山(韓国) | 上海(中国) | 高雄(台湾) | 神戸(フィーダー) | 外貨定期航路 | 神戸(フィーダー) | | | |
| | 日向(細島港)～ 1日(週2便) | 3日(週1便) | 7日(週1便) | 2日(週1便) | 日南(油津港)～ 2日(週1便) | | | | |

(R6.5月現在)

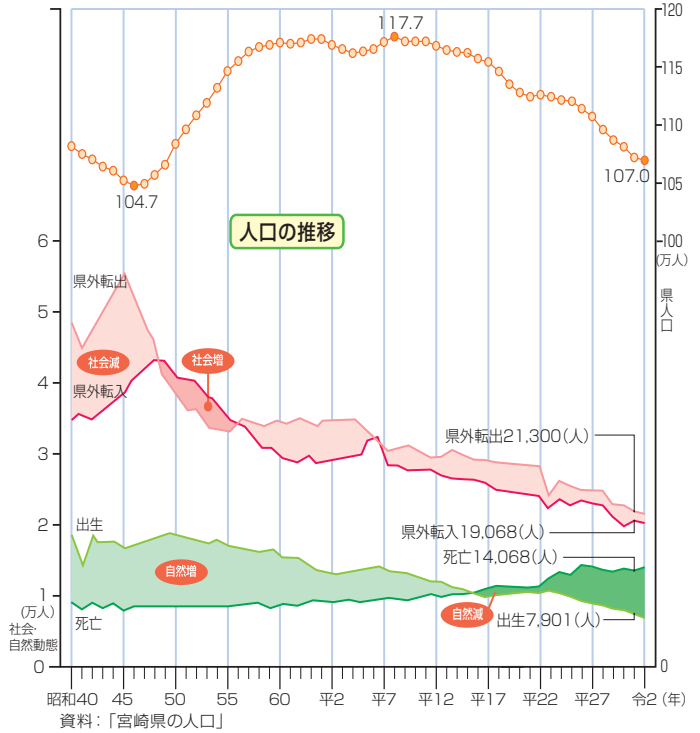
※ 時間は、往復のうち最短時間を記載している。
 ※ RORO 船：トラックやトレーラーが自走で船に乗り込み、貨物を積載したまま運搬できる貨物用の船舶。
 ※ フィーダー：国内の主要港湾で中継され、外国の港湾へ接続する航路。

2 人口のうごき



1 人口の動態

- 本県の総人口は、昭和46年(104万7千人)を境に増加基調に転じ、転出数の大幅な減少などを背景に昭和50年代前半まで高い伸びを示しました。
- その後、人口増加率は低下を続け、県人口は、平成8年(117万7千人)をピークに減少傾向にあります。
- 自然動態をみると、自然増減数(出生数-死亡数)は、出生数の減少に伴い、昭和55年以降は減少傾向にあり、平成15年には自然減に転じています。
- 社会動態は、昭和56年以降、転出超過に転じた後、平成5~6年には転入と転出がほぼ同数となりましたが、平成7年以降、再び転出超過が続いています。

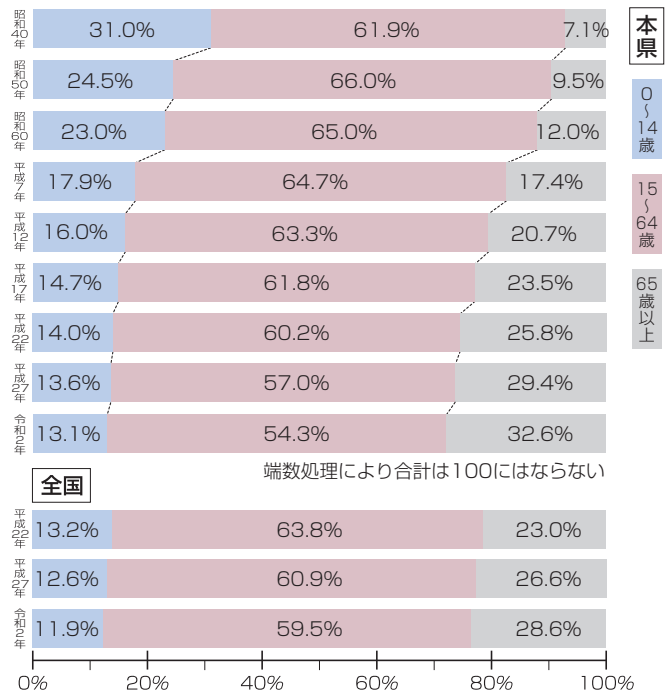


2 年齢(3区分)別人口の推移

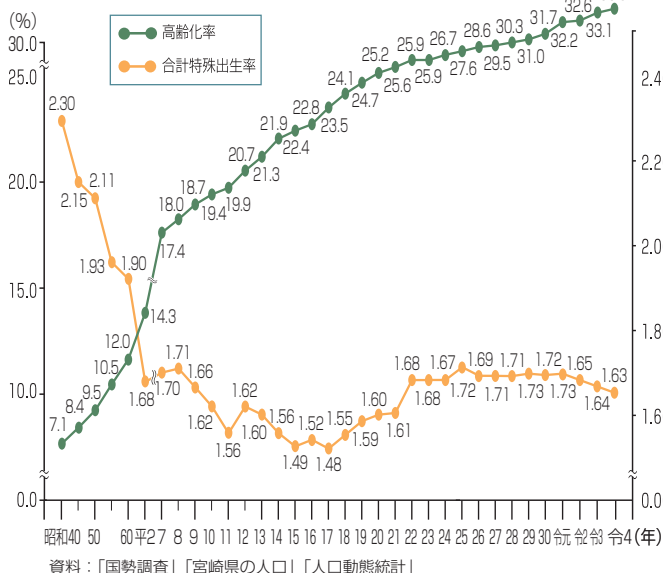
- 本県の65歳以上人口は、昭和40年の7万7千人から令和2年には34万9千人と約4.5倍に増加しており、全国より早く高齢化が進んでいます。
- 平成8年以降は、65歳以上の人口割合が14歳以下の人口割合を上回る状況となっています。
- 合計特殊出生率^{*}は、1.63(令和4年)と全国の数値1.26を大きく上回っていますが、現在の人口を維持するために必要な水準2.07を下回っています。

^{*}合計特殊出生率：1人の女性が生涯に何人の子供を生むかを示す指標。

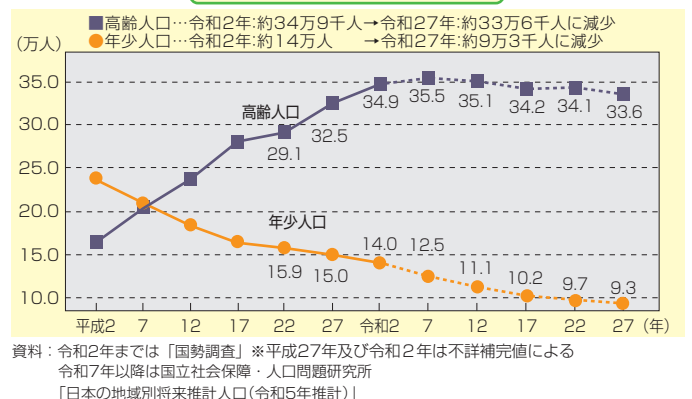
年齢3区分別人口の推移



高齢化率と合計特殊出生率の推移



宮崎県の高齢・年少人口予測

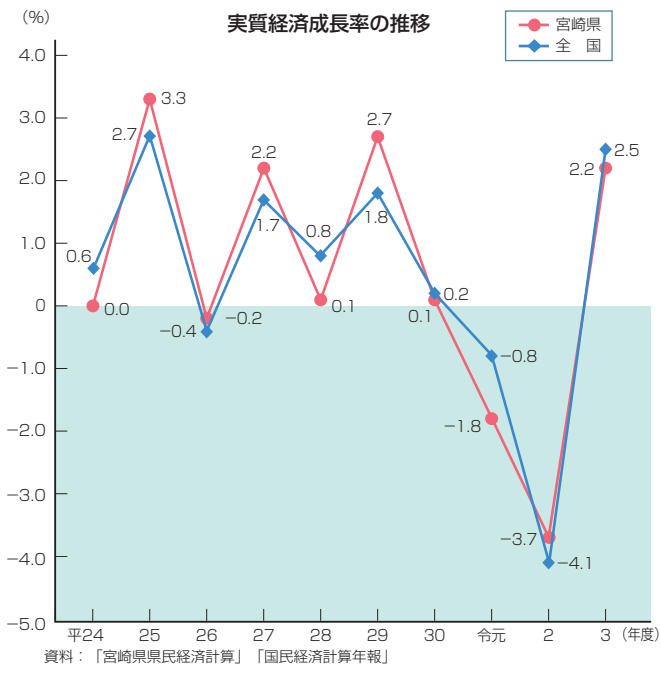


3 経済のうごき

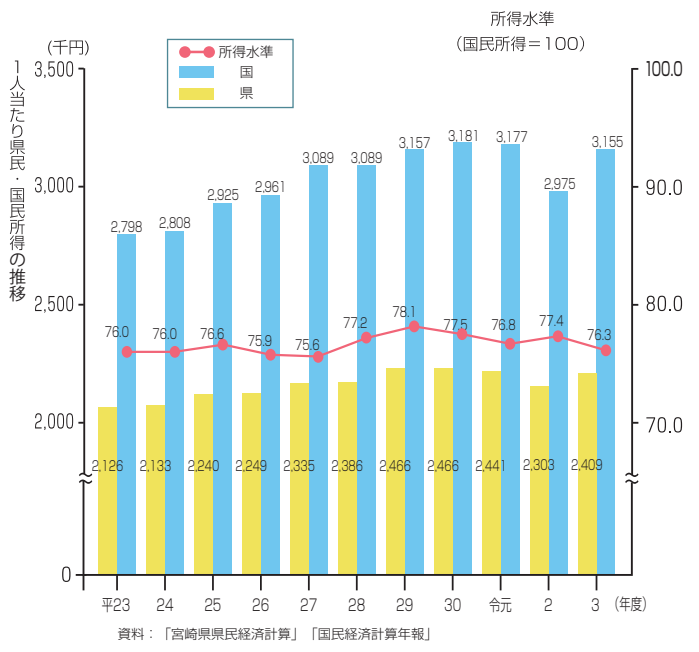


1 経済成長率(実質)

● 令和3年度の県内総生産
 名目県内総生産 3兆7,065億円
 実質県内総生産 3兆6,337億円

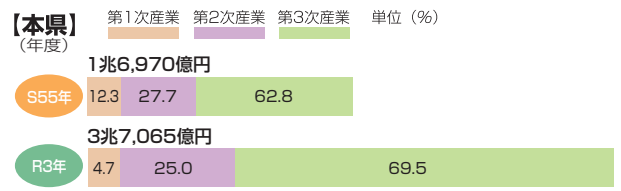


2 県民所得の推移(人口一人当たり)

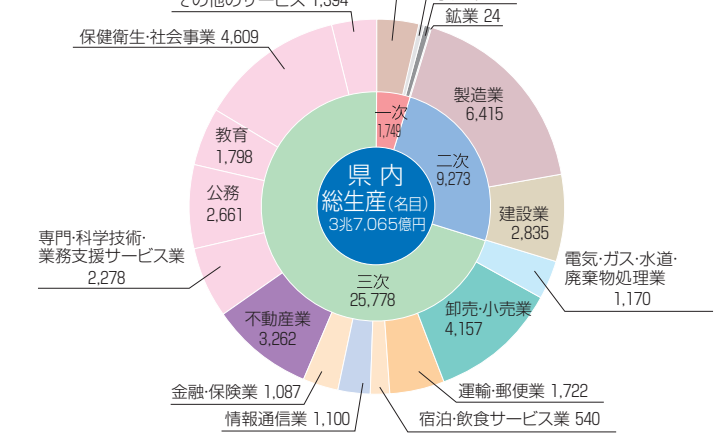


3 産業構造

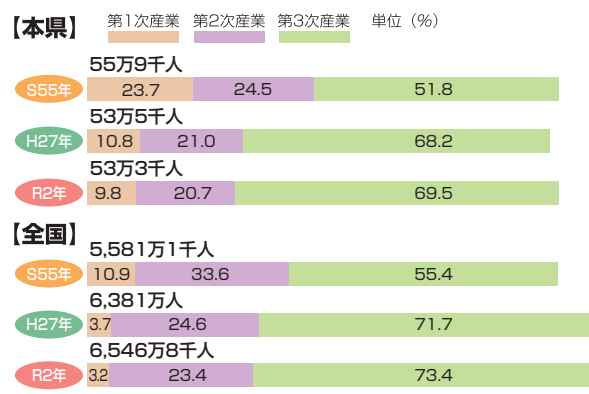
1. 県(国)内総生産(名目)



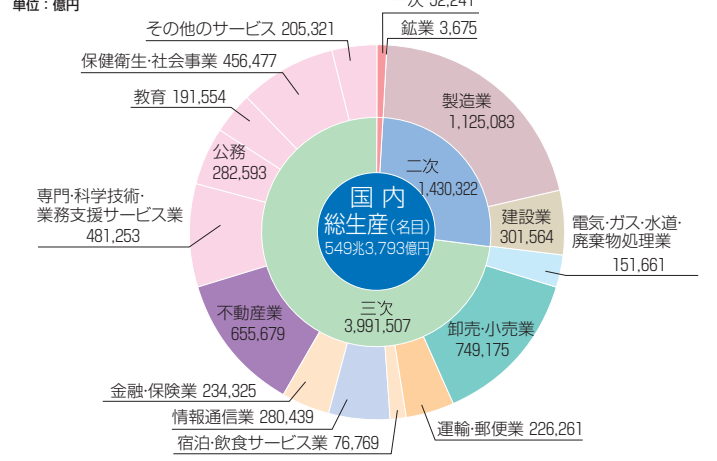
令和3年度 産業別構成(本県)



2. 就業人口



令和3年(暦年) 産業別構成(全国)





宮崎県総合計画は、「長期ビジョン」と「アクションプラン」で構成されます。

「長期ビジョン」は、令和22年（2040年）の将来像を描き、その実現に向けて解決すべき課題や今後の方向性など、本県がこれから進むべき道筋を示しています。

「アクションプラン」は、長期ビジョンに示す目指す将来像の実現に向けて、令和5年度～令和8年度（2023～2026年度）の4年間に重点的・優先的に取り組む5つの重点プログラムを設定しています。

宮崎県総合計画

長期ビジョン 令和22年(2040年)を展望

【基本理念】安心と希望の未来への展望

| 将来像 1 | 将来像 2 | 将来像 3 |
|--------------------|-----------------------|---------------------------|
| 一人ひとりが生き生きと活躍できる社会 | 安全・安心で心ゆたかに暮らしを楽しめる社会 | 力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会 |

未来に必要な5つの要素(キーワード)

| | | |
|-------|-------------------|----------|
| 持続可能性 | デジタル・先端技術・イノベーション | |
| 人材力 | 地域力 | きずな・つながり |

今後の方向性

- 1 人口減少を前提とした安心して暮らせる地域社会の維持
- 2 暮らしを支え、未来を拓く産業づくり
- 3 人生を豊かに過ごせる地域づくり
- 4 将来の人口安定化に向けた社会づくり

アクションプラン(令和5～8年度の4年間)

5つの重点プログラム

| | |
|-----|----------------------|
| I | コロナ禍・物価高騰等からの宮崎再生 |
| II | 希望ある未来への飛躍に向けた基盤づくり |
| III | 「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍 |
| IV | 社会減ゼロへの挑戦 |
| V | 力強い産業の創出・地域経済の活性化 |

知事の政策提案

※都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略としても位置づけています。

アクションプラン 5つの重点プログラム

プログラムI コロナ禍・物価高騰等からの宮崎再生

- ▶ 県民の命や健康を守る地域医療・福祉の充実
- ▶ 県民生活・地域経済の早期回復
- ▶ 魅力あふれる「観光みやざき」の創生

【主な取組内容】

医療・福祉人材の確保・育成対策の強化、貧困や孤立など困難を抱える人への支援、中小企業・小規模事業者への支援、「スポーツランドみやざき」のブランド力向上などに取り組みます。



プログラムII 希望ある未来への飛躍に向けた基盤づくり

- ▶ 希望ある未来への挑戦
- ▶ 交通・物流ネットワークの維持・充実
- ▶ 命や暮らしを守る災害に強い県づくり

【主な取組内容】

次世代モビリティやメタバースなど未来技術の活用検討、持続可能な地域交通網の構築、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策などに取り組みます。



プログラムIII 「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍

- ▶ 子どもを生き育てやすい県づくり
- ▶ 未来を担う子どもたちの育成
- ▶ 一人ひとりが自分らしく生き生きと活躍できる共感・共生社会づくり
- ▶ 健康・学び・スポーツ・文化の充実

【主な取組内容】

結婚・出産の希望がかなう環境づくり、新たな時代を生き抜く力を育む教育・キャリア教育などの推進、女性や障がい者、高齢者、外国人など様々な人が活躍できる社会づくり、健康づくりや生涯学習、スポーツ・文化交流の促進などに取り組みます。



プログラムIV 社会減ゼロへの挑戦

- ▶ 若者・女性の県内就業・県内定着の促進
- ▶ みやざき回帰・県外からの移住の促進
- ▶ 安心して住み続けられる持続可能な地域づくり

【主な取組内容】

「みやざきで暮らし、働く」良さの創出と情報発信、移住・U・I・Jターンの促進や関係人口・交流人口の拡大、中山間地域の振興、ゼロカーボン社会づくり、交通安全・防犯対策などに取り組みます。



プログラムV 力強い産業の創出・地域経済の活性化

- ▶ 産業を支える多様な人材の確保・育成
- ▶ 新産業の創出と地域経済の活性化
- ▶ 稼げる農林水産業への成長促進

【主な取組内容】

ICT技術者等の確保・育成、世界市場への積極的な展開、先端技術等を活用した持続可能な農林水産業への転換などに取り組みます。



5

3つの「日本一」挑戦プロジェクトの本格展開！

～宮崎の強みを伸ばす新たな挑戦～

子ども・若者プロジェクト

令和6年度当初予算13.5億円

目指す姿 日本一生まれてやすい県への挑戦

～県・市町村一丸となって、子ども・若者政策の好循環を創出し、人口減少を抑制～

主要指標

合計特殊出生率

1.63 (全国2位)
(注1)

1.8台 (全国1位)

取組の方向性

1 出逢い・結婚の希望を叶える

⇒出逢い・結婚支援の充実・強化

2 子どもがほしい人の希望を叶える

⇒第2子以降の希望を後押しする施策等の展開

3 安心して子育てできる教育環境をつくる

⇒様々な環境の子どもを支え、夢や希望を後押しする教育環境の整備



(注1)令和4年

グリーン成長プロジェクト

令和6年度当初予算8.7億円

目指す姿 再造林率日本一への挑戦

～ゼロカーボン社会と地域資源を活用した産業成長の実現～

主要指標

再造林率

73% (全国3位)
(注2) (注3)

90%以上 (全国1位)

取組の方向性

1 循環型林業の推進

⇒産学官・県民が一丸となった再造林に係る“宮崎モデル”の構築

2 循環型農水産業の推進

⇒地域資源を最大限活用する宮崎らしい取組の構築

3 脱炭素化による成長の実現

⇒各産業部門の脱炭素経営の推進



(注2)平成30年度から令和2年度までの平均値 (注3) 素材生産量50万m³以上の道府県

スポーツ観光プロジェクト

令和6年度当初予算23.6億円

目指す姿 スポーツ環境日本一への挑戦

～スポーツ環境の充実により、地域経済の活性化、観光振興などの好循環を創出～

主要指標

野球・サッカー・ラグビー プロチームキャンプ数

32チーム(全国2位)
(注4)

43チーム以上(全国1位)

取組の方向性

1 世界レベルのキャンプ・大会の戦略的な誘致

⇒競技別誘致部会、ワンストップ窓口等による誘致・受入体制の強化

2 戦略的・計画的なハード整備

⇒スポーツ施設整備計画による施設の高質化

3 県内全域のスポーツ環境の充実 (全県化・通年化・多種目化)

⇒市町村とのネットワーク強化や支援



(注4)宮崎県調べ(令和4年度分)

6 宮崎再生、そして次なる成長活力の創出に向けて



1 県民生活・経済活動の早期回復・充実

○ 困難を抱える人への支援強化

(1) 「いのち支える」取組

24時間365日つながる電話相談の運営や、さまざまな悩みをワンストップで相談できる相談会の開催、身近な人の異変に気づき、声をかけて悩みを聴く「ひなたのキズナ“声かけ”運動」を通じ、自殺予防を図ります。

(2) 子どもたちを守り育む取組

子ども食堂や学習支援など、困窮者支援に取り組む団体に対する食料等の循環の仕組みや協力体制を構築することで、子どもの居場所づくりを支援し、生活の維持・安定を図ります。



「ひなたのキズナ“声かけ”運動」（普及啓発）



○ 中小企業・小規模事業者等の事業維持・拡大への支援

コロナ禍や物価高騰等の影響により、経営状況が悪化した中小企業の経営改善計画や、再生計画の策定に必要な費用を支援し、計画の早期策定を促進することで、経営改善や事業再生につなげ、本県経済の着実な再生につなげます。

令和6年度中小企業再生支援強化事業補助金のご案内
再生計画（プレ再生計画を含む）の策定を検討している県内事業者の皆様へ

宮崎県中小企業活性化協議会の支援を受けて策定する再生計画等の調査及び策定費用の一部を補助します

補助額の上限は50万円/者です

補助対象事業者
 宮崎県内に主たる事業所を有する事業者（ただし、宮崎県中小企業融資制度の融資対象業種を営む者に限る。）であって、国が実施する「中小企業活性化協議会事業（再生支援）」を利用し、再生計画等に必要の調査又は策定をするもの
 （※その他、県税に滞納がないこと等の要件があります。）

周知用チラシ（抜粋）



計画策定に向けた関係者会議

○ 県民生活の更なる充実

(1) 電子図書館サービスの導入

居住地・年齢・時間・障がいの有無等にかかわらず、全ての県民が電子書籍を利用できる「ひなた電子図書館サービス」を導入します。県民の「知りたい・読みたい・学びたい」に応えるとともに、学校の読書活動や調べ学習を支援します。

(2) デジタルミュージアムの構築

宮崎県総合博物館に、大型壁面スクリーンやVR等の最新のデジタル技術を導入して、貴重な宮崎の自然史や歴史に関する資料をコンテンツ化した魅力あるデジタルミュージアムを構築します。

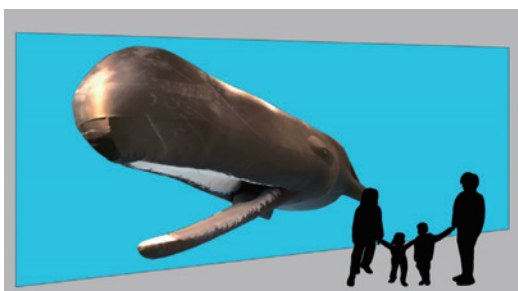
「ひなた電子図書館サービス」
 通称：ひなデジ

様々な作家の小説・ライトノベル等
 自己啓発・課題解決の教養書や実用書
 子ども達が読みたい児童文学・絵本・図鑑
 調査・研究に必要な専門書
 子育てに役立つ育児書
 調べ学習・探究学習の資料・参考書
 宮崎を知る・学べる郷土資料

いつでもだれでもどこでも読める!

文字の拡大、音が出るなど 読書バリアフリー対応

子どもから大人まで 読みたいときは 県立図書館へアクセス!



○強みを生かした観光誘客や魅力あふれる観光地域づくりの促進

(1)宮崎の強みを生かした誘客に向けた取組

物価高騰やデジタル化等への対応を図り、神話をはじめ自然や食、スポーツといった本県の強みを生かした誘客対策等を実施することにより、本県観光の着実な再生と更なる活性化を図ります。

- ①神社等、神話にまつわる場所における観光ガイドシステムの作成等
- ②自然等による癒やしスポットやインフラ施設等を巡るキャンペーン等
- ③宮崎の食をテーマとした周遊イベント等
- ④スポーツキャンプ会場から県内観光地への周遊促進企画等



①～④をより効果的に行うためのプロモーション
(交通機関、民間事業者、県外事務所等と連携して実施)

(2)魅力あふれる観光地域づくりに向けた取組

地域の観光人材を育成するとともに、県内の観光周遊を促進し、魅力あふれる観光地域づくりの推進に取り組みます。

①外部専門人材による観光地域づくり支援

外部専門人材を県観光協会へ配置し、市町村や観光関係団体等と連携しながら誘客のための観光マーケティングや情報発信を行います。



②観光人材育成

観光みやざき創生塾、観光ガイド研修会を通じた地域を牽引する観光人材の育成に取り組みます。



③魅力あふれる観光地域づくり支援

市町村や観光関係団体等が取り組む県内周遊観光につながる旅行商品開発・情報発信の取組に対する支援を行います。



○積極的な交流による海外からの活力の取り込み強化

(1)大阪・関西万博を見据えた観光誘客に関する取組

2025年の大阪・関西万博の開催を見据え、国内外の交通機関や観光関連事業者と連携した効果的な誘客対策を実施するとともに、本県の魅力を強力に発信するための観光プロモーションに取り組みます。

- ①旅行会社や交通機関と連携した旅行商品の造成・プロモーション
- ②大阪・関西万博関連イベントでの観光プロモーション
- ③関西圏における広報媒体を活用したPR
- ④欧米豪等富裕層の誘客強化

(2)インバウンド誘客強化に向けた取組

SNS等を活用した海外向け情報発信やデジタルプロモーションを強化するとともに、国際線を活用した誘客対策や他県空港から九州に入る観光客を本県周遊につなげる二次交通対策等に取り組み、本県へのインバウンド誘客の拡大を図ります。

○国内外との交流拡大・活性化に資する陸海空の交通・物流ネットワークの構築

(1)国際航空ネットワークの維持拡充に関する取組

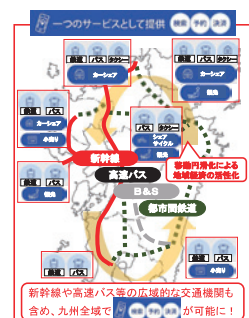
令和5年9月から運航が再開されたソウル線の増便や、令和2年2月から運休している台北線の早期再開に向けて、宮崎空港受入体制の充実を図っていきます。



(2)交通ネットワークの維持拡充に関する取組

公共交通における地域住民の利用促進や周遊型観光客の増加を図るため、九州全域で官民が一体となり「MaaS*」の取組を推進します。

※MaaS(マース:Mobility as a service)…スマートフォンのアプリを用いて、交通手段やルートを検索し、予約から決済までを一括で行うサービス。



○新たな時代に対応した人材の確保・育成やリスキングの推進

(1) デジタル人材の確保・育成

令和10年度までに約15,000人のデジタル人材を育成・確保すべく、「事業者」、「求職者等」、「学生等」の各々に向けた人材育成・確保の取組を進めます。

① 事業者に向けた取組

経営層への啓発・理解促進をはじめ、リーダー層、従業員など階層に合わせたデジタル技術を学ぶリスキング講座の実施の他、セミナー開催やより実践的な連続講座等を実施します。

② 求職者等に向けた取組

多様なメニューを備えたITスキル研修を行うと共に、県内IT企業等への就職支援を実施します。

③ 学生等、未来の本県産業を担う人材に向けた取組

高校生や大学生を対象としたITスキル講座の実施の他、講座参加者を中心に、県内IT企業等へのインターンシップなどによる接点づくりを実施します。



リスキング講座(経営層向け)



企業インターンシップの様子



学生向け講座交流会

(2) 半導体関連人材の確保・育成

① 半導体理解促進に向けた取組

小中学生から一般社会人まで、広く半導体の理解を深めるためのテーマ別講座や、学校や地域等に講師を派遣し、半導体の基礎知識等について周知するセミナーを開催します。

② 半導体人材育成サポートの取組

大学等がカリキュラムの一環として行う、企業から技術者を招いて開催する講座や工場見学等の人材育成の取組に対する支援を行います。

③ 半導体人材リスキング支援の取組

県外で実施される半導体人材育成プログラムへ自社の技術者等を参加させる企業に対し、研修参加に係る経費の一部を支援します。



○省力化や生産性向上に向けた産業のデジタル化の推進

本県の主力品目である施設ピーマンにおいて、収穫作業を補完する自動収穫ロボットの導入を目指し、ロボット収穫に適した栽培体系の確立等に官民で連携して取り組むなど、G7宮崎農業大臣会合で採択された「宮崎アクション」で掲げる持続可能な農業の実現を目指します。



○みやざき回帰・県外からの移住の促進

将来の移住につながる本県のファン層や関係人口の創出・拡大を図り、宮崎ひなた暮らしUIJターンセンターにおける相談対応等を通して、本県への移住(UIJターン)を促進します。

また、移住・定住に向けた住居支援や移住後のフォローアップ支援など、一貫した支援に取り組みます。

① 本県のファン層・関係人口の創出・拡大

宮崎の人や暮らしを身近に感じられる動画を作成し、都市圏においてSNS発信等によるプロモーションを実施します。

また、宮崎での仕事と暮らしの体験やワーケーションの機会を提供します。



② 移住促進・受入環境の整備

宮崎ひなた暮らしUIJターンセンターを拠点とした都市部での相談対応や、県主催移住相談会等の実施により、宮崎での暮らしの魅力をPRします。

また、空き家の利活用を啓発する講演会を開催するなど、移住者の住まいの整備に取り組みます。



③ 移住者の定住・定着の促進

移住者と地域とのつながりの構築を促進するため、移住者からの相談に対応する移住サポーターの設置や交流会等に取り組めます。

また、地域おこし協力隊員の任期終了後の地域への定着促進に向け、研修会の開催やOB・OGによる相談体制の整備に取り組めます。



4 多様な人材の活躍推進

○女性リーダーの育成、女性管理職の登用

- (1)「みやざき女性の活躍推進会議」において講演会や研修会等を実施し、企業、関係団体、行政が一体となって、女性が多様な働き方を実現できる環境づくりを進めます。
- (2)女性がキャリアアップを目指したいと思える職場環境づくりを推進するとともに、女性メンターの派遣や社内研修の提供により女性の人材育成に取り組み、切れ目のないキャリア形成を支援します。



○各分野で働く外国人材の確保・定着

(1)介護分野

海外現地で宮崎での介護の仕事の魅力をPRするとともに、介護事業所に対して、受入れ制度に関する説明会から、雇用契約や入国支援まで、一貫して支援を行い、外国人材の確保・定着を図ります。



(2)建設分野

県内の建設産業で働く外国人材の定着に向けて、ベトナム語など多様な言語で相談できる体制を整備するとともに、新たな外国人材の受け入れに向けて取り組みます。



(3)農業分野

国内外で人材確保競争が激化する中、農業分野での外国人材の安定的な確保・定着を図るため、海外教育現場との連携強化や公営住宅の活用推進等、外国人材から選ばれる県を目指した取組を行います。



特定技能外国人材による作業風景



ベトナム国立農業大学における「宮崎クラス」創設

○障がい者雇用機会の拡大

- (1)県内の特別支援学校高等部の生徒・保護者を対象に、就労に向けた意識・意欲を高めてもらうための就労支援セミナーを開催します。
- (2)雇用を検討している民間企業等を対象に、雇用にあたり配慮すべき事項などを理解してもらうための雇用理解促進セミナーや、雇用の現場を知ってもらうためのバスツアーを開催し、雇用の場の拡大を図ります。
- (3)県内4地区で就職のための面談を行う「ふれあい合同面接会」を開催するなど、障がい者と民間企業のマッチングの場を提供し、就労の機会を創出します。



雇用理解促進セミナー



ふれあい合同面接会

○防災・減災、国土強靱化に関する取組について ～県土強靱化の実現に向けて～

激甚・頻発化する豪雨災害や、切迫する南海トラフ地震などの大規模災害から県民の生命・財産を守るため、防災・減災対策に取り組んでいます。また、国の「防災・減災、国土強靱化対策」により、さらに集中的・重点的に取り組みます。

県土強靱化の取組内容と効果事例

**東九州自動車「清武南～日南北郷」間が令和5年3月に開通
ダブルネットワークとしての代替機能を発揮**

▼R5.3開通

国道が通行止めの際には、ダブルネットワークとしての代替機能を発揮

災害時に強い道路整備により、「被災する道路」から「救援する道路」へ！

▼国道219号 越野尾工区

整備前
平成30年8月台風豪雨による被災

整備後

▼国道219号 岩下工区

整備前

整備後

河道掘削等により、治水安全度向上（流域治水）

県内の各河川で、河道掘削・樹木伐採を実施。

二級河川 一ツ瀬川水系三財川 対策前（霧島橋下流）

流下断面不足による洪水氾濫の恐れ

着手前

対策後（霧島橋下流）

河道掘削・伐採により治水安全度向上！事業のスピードアップ！！

完成

南海トラフ巨大地震に備えて計画された「避難施設」を整備

県内26箇所の津波避難施設が完成
収容可能人数は1万8千人

土々呂地区複合型避難施設（延岡市）

ひなた宮崎県総合運動公園に「避難デッキ・避難高台」を整備

収容可能人数が、3万人→6万1千人に増加

津波が襲来しても倒壊しにくい構造（粘り強い）の防波堤を整備
港湾物流機能の確保が可能に！

重要港湾 細島港

耐震化前
津波時に防波堤が倒壊する危険性

耐震化後
津波時による防波堤の倒壊を防止

砂防えん堤により土石流・立木を捕捉し、下流の被害を防止

ずり谷川川砂防堰堤（椎葉村）

地域防災力の一層の強化（地域力の発揮）

防災教育
リスクを明確化し地理的状況に合った実践的な防災教育・訓練

北方学園中学校（風水害、土砂災害）

啓発（防災小説コンテスト）
災害を自分事として捉える取組として南海トラフ地震発生直後の自分の行動を小説化（高校生対象）

最優秀作品のアニメ化（啓発動画）

○洪水浸水被害に備えた立体駐車場の整備

太陽光パネルや電動車充電設備を備え、洪水時に県公用車を浸水被害から守るとともに、周辺住民等の一時的な避難施設ともなる立体駐車場を整備します。

- ・企業局南駐車場に5階建ての立体駐車場(外来・公用車兼用)を整備
- ・屋上に太陽光パネルを設置し、電動車等へ電力を供給



立体駐車場イメージ図

○中山間地域を中心とした医療支援

中山間地域での在宅医療体制において重要な役割を担うことが期待されている、訪問看護サービス提供事業所の新規開設や人材確保などの経営基盤強化に向けた取組支援を行い、地域包括ケアシステムの構築を推進します。



7 行財政改革の推進



限られた人員・財源の中で、多様化・高度化する県民ニーズに的確に対応しながら、県民本位の行財政改革を推進するため、「みやざき行財政改革プラン(第四期)」に基づき様々な取組を着実に推進することにより、持続可能な行財政基盤の確立を図ります。

みやざき行財政改革プラン(第四期)の概要

基本理念

県総合計画の基本理念『安心と希望の未来への展望』を支える持続可能な行財政基盤の確立

○推進期間

令和5年度～令和8年度(4年間)

○推進体制

行財政改革推進本部(本部長:知事)を中心とした全庁的な行財政改革を推進するとともに、行財政改革懇談会(外部有識者)に意見を求めます。

○進捗状況等の公表

県民に分かりやすい形で毎年度公表します。

【改革プログラム】

改革の視点1 県政運営を支える行政基盤の構築と人材づくり

- (1) 簡素で効率的な行政組織等の整備
組織体制の見直し、適正な定員・給与の管理、公社等改革の推進等
- (2) 信頼性を高める行政運営
法令遵守意識の徹底、内部統制制度の適切な運用と監査制度の充実等
- (3) 県政運営の透明性の確保
効果的・効率的な政策の形成・推進、情報公開制度の適切な運用等
- (4) 県政を担う人材の育成・確保
行政ニーズに応じた多様な人材確保、女性職員の活躍推進等

改革の視点2 多様な主体との連携と県民目線のサービスの提供

- (1) 多様な主体との連携・協働
企業、大学、NPO、ボランティア等との連携・協働等
- (2) 市町村等との連携
市町村や国の機関との連携、市町村間連携の取組支援等
- (3) 県政情報の発信と県民ニーズの把握
分かりやすい適時・的確な広報等
- (4) 県民サービス・利便性の向上
行政手続の簡素効率化、相談窓口の利便性向上等

改革の視点3 行政のデジタル化と働き方改革の推進

- (1) 行政サービスのデジタル化の推進
ICT等を活用した行政サービスの利便性向上等
- (2) ICTの活用等による業務効率化
ICTを活用した業務効率化、デジタル人材の育成等
- (3) 全ての職員が働きやすい職場環境づくり
柔軟な働き方の推進、仕事と子育て・介護が両立できる職場環境の整備等

改革の視点4 健全な財務基盤の構築と資産の有効活用

- (1) 自主財源の確保とコスト縮減
県税収入確保に関する取組強化、省エネ・省資源の徹底等
- (2) 県有財産等の資産の有効活用
公共施設等の総合的かつ計画的な管理、知的財産権の取得と活用促進等

財政健全化指針

8 宮崎県の財政



●本県の財政状況

本県財政は、県税等の自主財源に乏しい脆弱な財政基盤にあり、今後、社会保障関係費に加え、物価高騰等対策や防災・減災対策、国民スポーツ大会への準備、公共施設の老朽化対策等に多額の財政負担が見込まれることから、引き続き健全な財政運営を行っていく必要があります。

●令和6年度当初予算の概要

予算額(一般会計)は、以下の考え方にに基づき編成し、前年度6月補正後の予算額と比べ、3.5%減の6,598億円となっています。

□ 令和6年度当初予算については、宮崎再生を着実に進め、日本一への挑戦を通して宮崎を新たなステージへ導く予算として、以下の三本柱で編成しています。

1 3つの日本一挑戦プロジェクトの本格展開

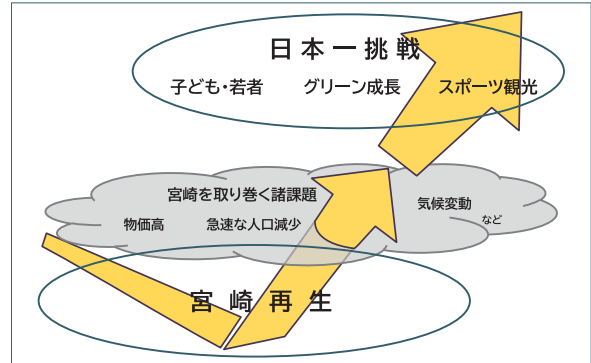
- ・子ども・若者 ~日本一生き育てやすい県へ~
- ・グリーン成長 ~再造林率日本一へ~
- ・スポーツ観光 ~スポーツ環境日本一へ~

2 宮崎再生の着実な推進と次なる成長活力の創出

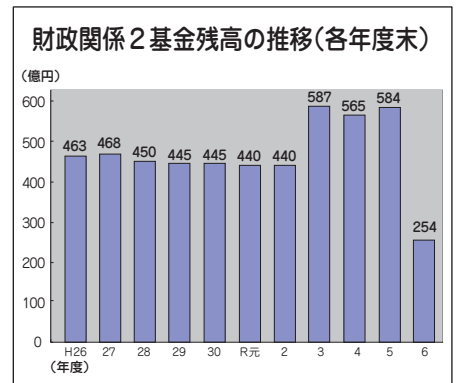
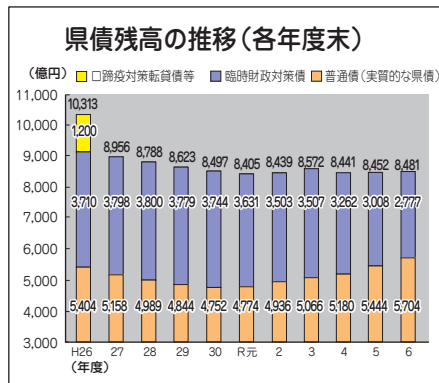
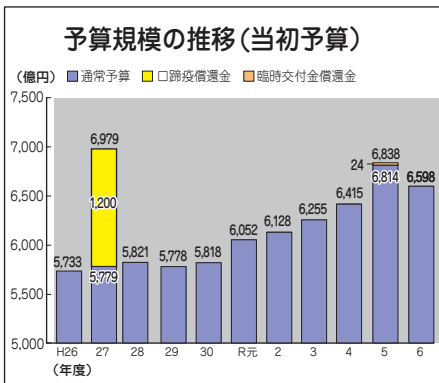
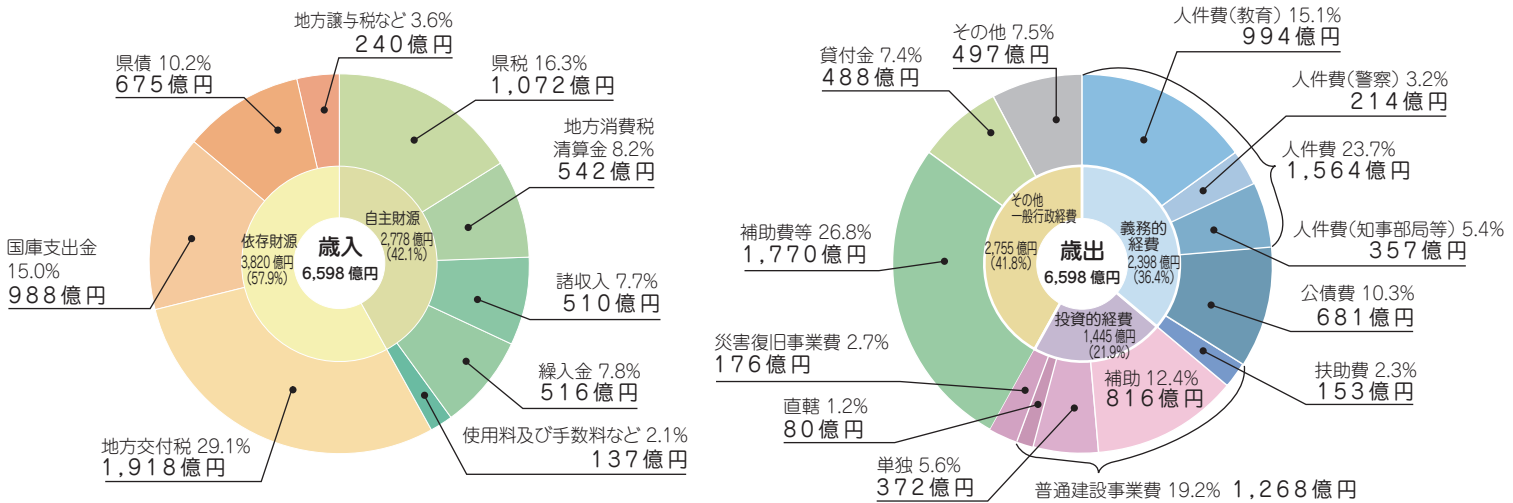
- ・県民生活・経済活動の早期回復・充実
- ・更なる交流拡大・活性化
- ・人口減少への対応と新たな時代に対応した産業づくり

3 多様な人材の活躍と安全・安心な暮らしづくり

- ・多様な人材の活躍推進
- ・県民の命や健康を守る体制の充実



宮崎県の歳入・歳出(一般会計)



※平成27年度、令和元年度、令和5年度は6月補正後の予算額
 ※平成27年度の1,200億円は口蹄疫対策転貸債償還金
 ※令和5年度の24億円は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金償還金

※令和4年度までは決算額、令和5年度は2月補正後、令和6年度は当初予算後の見込額
 ※臨時財政対策債：地方交付税の代替財源として措置される県債。償還金の全額が後年度交付税措置される。
 ※口蹄疫対策転貸債等：口蹄疫復興対策を実施する財団法人が、その運用益で事業を実施できるよう、元本として貸し付けた県債。平成27年度に全額を償還。
 ※普通債：特例的な県債(臨時財政対策債等)を除く実質的な県債

※財政関係2基金：財政調整積立金、県債管理基金(財源調整部分)
 ※令和4年度までは決算額、令和5年度は2月補正後、令和6年度は当初予算後の見込額



○令和5年4月
「アミノバイタル®トレーニングセンター宮崎」供用開始



ラグビーやサッカー、陸上競技、トライアスロン等、国内外のトップアスリート等の合宿拠点を整備しました。オープニングイベントとして、開所式及び帝京大学対同志社大学のラグビー交流戦を実施しました。

○令和5年4月
「宮崎県幼児教育センター」開設



保育士等の専門性を高める研修の実施や、幼稚園や保育所と小学校間の連携推進など、幼児教育の質の向上を図るための拠点として、県ごとも政策局内に開設しました。

○令和5年7月
農業人材の確保等に向けた知事のベトナム初訪問



農業分野を中心とした外国人材の確保等に向け、県と連携合意を締結しているベトナム国立農業大学等を訪問し、現地の方々に対して、本県や本県農業のPRを行いました。

○令和5年9月
「みやざきの神楽」国立能楽堂公演



神楽のユネスコ無形文化遺産登録を目指す取組の一環として、国立能楽堂(東京都)で桐尾神楽(椎葉村)の公演を行い、神楽の魅力を発信しました。満席の会場が勇壮な舞に魅了されました。

○令和5年4月
「G7宮崎農業大臣会合」宮崎開催



シーガイアコンベンションセンターにおいて、G7宮崎農業大臣会合が開催されました。G7農業大臣声明とともに、G7各国が取り組むべき行動を要約した「宮崎アクション」が採択されました。

○令和5年6月・8月
スポーツランドみやざき特別表彰 表彰式
(野球日本代表侍ジャパン)(山本由伸氏)



2023WBCにおいて、宮崎で事前キャンプを行い、劇的な世界一奪還となる3度目の優勝を果たされた野球日本代表侍ジャパン及び本県ゆかりの選手である山本由伸氏の功績を称え「スポーツランドみやざき特別表彰」の表彰式を実施しました。

○令和5年8月
「みやざき読書アンバサダー」米良美一氏就任



歌手の米良美一さんに「みやざき読書アンバサダー」を委嘱しました。「読み聞かせと歌のコンサート」やPR動画を通して、「読書県みやざき」をさらに推進していきます。

○令和5年9月
アジアナ航空による国際定期便「宮崎-ソウル線」の運航再開



9月27日、約3年半ぶりに、アジアナ航空による「宮崎-ソウル線」の運航が再開されました。再開当日は、知事やアジアナ航空の幹部などが参加する記念式典が実施されました。

○令和5年10月
「宮崎県人会世界大会」開催



本県初開催となる「宮崎県人会世界大会」では、国内外から多くの方々に参加し、県人会の地域間・世代間の交流が図られました。今後は、大会で生まれたネットワークを生かし、本県施策の更なる展開につなげていきます。

○令和5年12月
宮崎県県民栄誉賞授賞式(故青木賢児氏)



県立芸術劇場の初代館長として、宮崎国際音楽祭の創設及び発展に尽力し、本県文化の向上発展に大きく貢献された故青木賢児氏の功績を称え「県民栄誉賞」を授与しました。

○令和5年12月
「ローム株式会社」及び「ラピスセミコンダクタ株式会社」の立地認定



半導体大手のローム(株)が、子会社であるラピスセミコンダクタ(株)の宮崎第二工場を国富町に整備することとなり、両社を県の立地企業として認定しました。本県では過去最大規模の投資計画となります。

○令和6年2月
ハラール対応食肉処理施設の竣工



県内初のハラール認証に対応する食肉処理施設が西都市に整備されました。今後は、イスラム圏に向けた県産牛肉の輸出拡大が期待されます。

○令和5年11月
国道218号(九州中央自動車道)蘇陽五ヶ瀬道路(五ヶ瀬区間)着工式



11月3日に蘇陽五ヶ瀬道路(五ヶ瀬区間)の着工式が、五ヶ瀬町で開催されました。同月26日には、熊本県側の蘇陽区間でも着工式が開催されるなど、整備が着実に進められております。

○令和5年12月
「みやざき半導体関連産業人材育成等コンソーシアム」の設立



本県の半導体関連産業の基盤の強化を図るため、産学官によるコンソーシアムを設立しました。半導体人材の育成・確保や、会員企業の取引拡大・サプライチェーンの強化、会員企業間の情報交換などに取り組めます。

○令和6年1月
宮崎県県民栄誉賞授賞式(戸郷翔征氏)



2023WBCにおいて、野球日本代表侍ジャパンのメンバーとして優勝に大きく貢献された戸郷翔征氏の功績を称え「県民栄誉賞」を授与しました。

○令和6年2月
宮崎県立延岡病院 「心臓脳血管センターハイブリッド手術室」完成



県立延岡病院の「心臓脳血管センターハイブリッド手術室」が完成しました。県北地域の中核病院である延岡病院において、心筋梗塞や脳卒中、重症外傷など一刻を争う救急疾患に対する医療提供体制のさらなる充実が期待されます。



宮崎県の歴史



昔の県庁周辺(昭和初期)

宮崎は、まっすぐに日の出る方に向いているということから、古より「日向の国」と呼ばれています。また、日本初代天皇・神武天皇にちなむ伝承が存在し、宮のあたりとか、所在地というような意味で、「宮崎」の地名が起こったといわれています。

古代のロマンにみちた神話・伝承や伝統文化が数多く残り、高千穂町・高原町の天孫降臨神話、椎葉村の平家落人伝説、美郷町(旧南郷村)の百済王族亡命伝説などが有名であり、西都市には、巨大な西都原古墳群が広がっています。

江戸時代、日向国は小藩が分立し、延岡藩(内藤氏)・高鍋藩(秋月氏)・佐土原藩(島津氏)・飫肥藩(伊東氏)・島津藩領・天領となって明治に至りました。

明治6年、美々津県と都城県を廃し宮崎県が置かれ、明治9年に廃止となり、鹿児島県に合併され、西南戦争のときは本県も戦場となりました。

明治16年5月9日、分県運動の結果、宮崎県が再置され、今日に至っています。



今の県庁周辺

置県後のあゆみ

| | | | |
|---------|---|--|------------------------------------|
| 明治 | 16年 5月 | 宮崎県再置 | |
| | 7月 | 宮崎県庁開庁 | |
| 大正 | 12年 12月 | 日豊本線開通 | |
| 昭和 | 7年 10月 | 県庁舎(現在の本館)落成 | |
| | 22年 4月 | 第1回知事、市町村長選挙 | |
| | 24年 5月 | 宮崎大学設置 | |
| | 29年 12月 | 宮崎空港開港(極東航空ローカル線) | |
| | 41年 10月 | 宮崎空港ジェット化 (地方空港として日本初) | |
| | 48年 4月 | 第24回全国植樹祭(夷守台) | |
| | 49年 6月 | 宮崎医科大学開学 | |
| | 54年 9月 | 第34回国民体育大会夏季大会 | |
| | 10月 | // 秋季大会 | |
| | 56年 10月 | 第15回全国身体障害者スポーツ大会 | |
| 和 | 58年 5月 | 九州縦貫自動車道宮崎線全線開通 | |
| | 11月 | 置県100周年記念式典 | |
| | 61年 11月 | 「新ひむかづくり運動」県民会議発足 | |
| | 62年 6月 | 第10回全国育樹祭(夷守台) | |
| | 63年 7月 | 宮崎港開港 | |
| | | 宮崎・日南海岸リゾート構想がリゾート法第1次指定 | |
| | 平成 | 4年 8月 | 全国高等学校総合体育大会 |
| | | 5年 2月 | 宮崎学園都市完成 |
| | | 10月 | 第10回世界ベテランズ陸上競技選手権大会 |
| | | 6年 4月 | フォレストピア学びの森学校開校 |
| 7年 10月 | | 県総合文化公園グランドオープン | |
| 11月 | | 第15回全国豊かな海づくり大会(油津港) | |
| 8年 3月 | | 第1回宮崎国際室内楽音楽祭 | |
| 7月 | | 空港連絡鉄道開通 | |
| 11月 | | 第9回全国健康福祉祭みやざき大会 | |
| 9年 4月 | | 県立看護大学開学 | |
| 11年 3月 | | 第16回全国都市緑化みやざきフェア | |
| 12年 4月 | | 太平洋・島サミット | |
| 7月 | | 九州・沖縄サミット宮崎外相会合 | |
| 8月 | | 細島港国際コンテナターミナル供用開始 | |
| 13年 4月 | | 宮崎～ソウル国際定期便運航開始 | |
| 9月 | | 「日本スポーツマスターズ2001宮崎大会」開催 | |
| 15年 6月 | | ひむか神話街道全線開通 | |
| 16年 4月 | | 第55回全国植樹祭開催 | |
| 平成 | | | 県立西都原考古博物館開館 |
| | | 19年 4月 | 県立宮崎西高等学校附属中学校開校 |
| | 20年 6月 | 宮崎～台北国際定期便運航開始 | |
| | 21年 10月 | 全国スポーツ・レクリエーション祭 | |
| | | 「スポレクみやざき2009」開催 | |
| | 22年 4月 | 県内で口蹄疫発生、同年8月終息宣言 | |
| | 8月 | 第34回全国高校総合文化祭 | |
| | | 「全国高総文祭・みやざき2010」開催 | |
| | 23年 11月 | 宮崎県シンボルキャラクター「みやざき犬」誕生 | |
| | 24年 4月 | ドクターヘリ運航開始 | |
| | 10月 | 「第10回全国和牛能力共進会」宮崎牛2大会連続日本一 | |
| | 25年 6月 | 置県130周年記念式典開催 | |
| | 11月 | 宮崎キャビア1983販売開始 | |
| | 26年 9月 | 第6回IBAF女子野球ワールドカップ2014宮崎大会開催 | |
| | 27年 5月 | 第26回全国「みどりの愛護」のつどい開催 | |
| 11月 | 「第18回全国農業担い手サミットinみやざき」開催 | | |
| 12月 | 高千穂郷・椎葉山地域の世界農業遺産認定 | | |
| 28年 4月 | 東九州自動車道椎田南～豊前間供用開始により宮崎市～北九州市間全線開通 | | |
| 7月 | 霧島錦江湾国立公園が国立公園海喫プロジェクト先導的モデル地域に選定 | | |
| 平成 | 29年 6月 | 祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの登録決定 | |
| | 9月 | 「第11回全国和牛能力共進会」3大会連続内閣総理大臣賞(最高位)受賞 | |
| | 30年 5月 | 日本遺産認定「古代人モニュメント一帯地に絵を描く南国宮崎の古墳景観」(西都・宮崎市・新富町) | |
| | 4月 | 「みやざき林業大賞」開講 | |
| | 令和 | 元年 6-7月 | ラグビーワールドカップ2019 日本代表事前チームキャンプ実施 |
| 9月 | 2019 ISAワールドサーフィンゲームス開催 ラグビーワールドカップ2019 イングランド代表公認チームキャンプ実施 | | |
| 2年 | 新型コロナウイルス感染症の流行 | | |
| 7月 | 防災庁舎の完成 | | |
| 3年 7-8月 | 東京2020オリンピック・パラリンピック海外代表チーム事前合宿 | | |
| 8月 | 本格焼酎出荷量 7年連続日本一 | | |
| 7-10月 | 「国文祭・芸文祭みやざき 2020」開催 | | |
| 4年 1月 | 新県立宮崎病院開院 | | |
| 4月 | ソラシドエアサーフィンセンター開設 | | |
| 5年 2月 | WBC侍ジャパン宮崎キャンプ実施 | | |
| 4月 | アミノバイタル®トレーニングセンター宮崎開設 | | |
| | 「G7宮崎農業大臣会合」開催 | | |
| 10月 | 置県140周年記念イベントとして「宮崎県人会世界大会」開催 | | |

11 全国から見た宮崎県



| 指 標 名 | 単 位 | 全 国 | 宮 崎 県 | 順 位 | 対全国比 (%) | 調 査 年 ・ 資 料 出 所 |
|----------------------------------|-------------------|-----------|---------|-----|----------|-------------------|
| 総 面 積 | km ² | 377,975 | 7,734 | 14 | 2.05 | R5.10.1 国土地理院 |
| 総 人 口 | 千人 | 126,146 | 1,070 | 35 | 0.85 | R2.10.1 総務省 |
| 一 般 世 帯 数 | 千世帯 | 55,705 | 469 | 35 | 0.84 | R2.10.1 // |
| 人 口 密 度 | 人/km ² | 338 | 138 | 39 | - | R2.10.1 総務省、国土地理院 |
| 合 計 特 殊 出 生 率 | - | 1.26 | 1.63 | 2 | - | R4年 厚生労働省 |
| 県 (国) 内 総 生 産 (名 目) | 億円 | 5,505,304 | 37,065 | 39* | 0.67 | R3年度 内閣府、宮崎県 |
| 一 人 当 たり 県 (国) 民 所 得 | 千円 | 3,155 | 2,409 | 46* | 76.3 | // // |
| 消 費 者 物 価 地 域 差 指 数 (総 合) | - | 100.0 | 96.1 | 47 | - | R4年平均 総務省 |
| 総 農 家 数 | 戸 | 1,747,079 | 30,940 | 27 | 1.77 | R2.2.1 農林水産省 |
| 農 業 産 出 額 | 億円 | 90,147 | 3,505 | 6 | 3.89 | R4年 // |
| ピ ー マ ン 収 穫 量 | トン | 150,000 | 28,100 | 2 | 18.73 | R4年 // |
| さ と い も 収 穫 量 | // | 138,700 | 13,600 | 2 | 9.81 | R4年 // |
| き ゅ う り 収 穫 量 | // | 548,600 | 64,500 | 1 | 11.76 | R4年 // |
| 肉 用 牛 飼 養 頭 数 | 頭 | 2,687,000 | 260,200 | 3 | 9.68 | R5.2.1 // |
| 豚 飼 養 頭 数 | // | 8,956,000 | 818,200 | 2 | 9.14 | R5.2.1 // |
| ブ ロ イ ラ ー 飼 養 羽 数 | 千羽 | 141,463 | 28,254 | 2 | 19.97 | R5.2.1 // |
| ス ギ 素 材 生 産 量 | 千m ³ | 13,238 | 1,878 | 1 | 14.19 | R4年 // |
| 乾 し い た け 生 産 量 | トン | 2,034 | 360 | 2 | 17.7 | R4年 // |
| 海 面 漁 業 ・ 養 殖 業 生 産 量 | // | 3,862,831 | 81,440 | 16 | 2.11 | R4年 // |
| 近 海 か つ お 一 本 釣 漁 獲 量 | // | 14,943 | 11,262 | 1 | 75.37 | R4年 // |
| 製 造 事 業 所 数 | 事業所 | 222,770 | 1,527 | 40 | 0.69 | R4.6.1 総務省、経済産業省 |
| 製 造 品 出 荷 額 等 | 億円 | 3,302,200 | 17,236 | 40 | 0.52 | R3年 // |
| 事 業 所 数 (卸 売 業 ・ 小 売 業) | 事業所 | 865,258 | 7,849 | 34 | 0.91 | R4.6.1 // |
| 年 間 商 品 販 売 額 | 億円 | 5,519,564 | 24,891 | 35 | 0.45 | R3年 // |
| 道 路 改 良 率 (国 県 道) | % | 77.9 | 70.5 | 37 | - | R4.3.31 国土交通省 |
| 人 口 千 人 当 たり 自 動 車 保 有 台 数 | 台 | 659.9 | 907.8 | 7 | - | R5.3.31 自検協 |
| 都 道 府 県 別 1 人 当 たり 都 市 公 園 等 面 積 | m ² | 10.8 | 20.2 | 5 | - | R4.3.31 国土交通省 |
| 人 口 1 0 万 人 当 たり 医 師 数 | 人 | 274.7 | 276.4 | 25 | - | R4.12.31 厚生労働省 |
| 人 口 1 0 万 人 当 たり 一 般 病 院 病 床 数 | 病床 | 709.6 | 857.6 | 17 | - | R4.10.1 // |
| 高 等 学 校 等 進 学 率 | % | 98.7 | 97.8 | 45 | - | R5年3月卒 文部科学省 |
| 大 学 等 進 学 率 | // | 60.8 | 48.6 | 40 | - | // // |

※順位はR2年度

県のシンボル



県章 (明治 45.1.14 制定)

「日向」の文字、つまり宮崎県をあらわしたもので、「日」を中心に「向」が三方に伸びて、躍進する県のすがたを示しています。



県旗 (昭和 39.12.22 制定)

この旗は、県のシンボルであるみどりと太陽 (黄色) をあらわし、宮崎の「ミ」をかたちどり、段階をふんで高まる県の躍進のすがたをあらわしています。

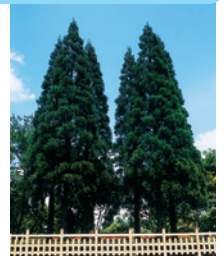
県 の 木



フェニックス



ヤマザクラ



オビスギ

県 の 鳥



コジロヤマドリ

県 の 花



ハマユウ



宮崎県シンボルキャラクター



ひいくん かあくん むうちゃん



宮崎市



都城市



延岡市



日南市



小林市



日向市



串間市



西都市



えびの市



三股町



高原町



国富町



綾町



高鍋町



新富町



西米良村



木城町



川南町



都農町



門川町



諸塚村



椎葉村



美郷町



高千穂町



日之影町



五ヶ瀬町

ポケモンマンホール

「ポケふた」とは

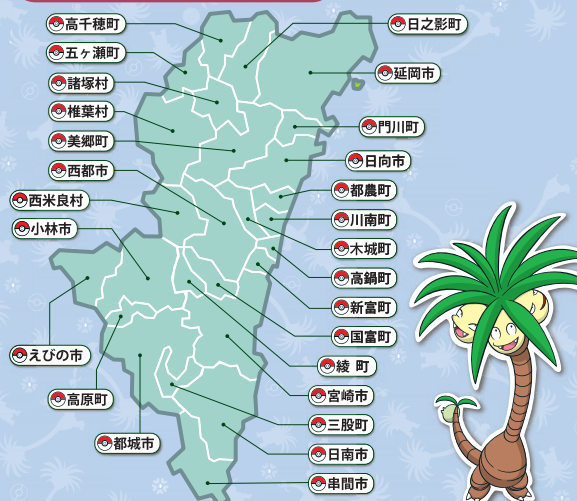
ポケモンの絵が描かれたマンホール蓋で、全国各地に設置されています。全国・全世界の多くの方に、地域の魅力とポケモンたちの魅力も知っていただくことを目指しています。

宮崎県内の全ての市町村に、「宮崎だいすきポケモン」ナッシーの「ポケふた」が設置してあります。どこにあるかはWEBをチェック！各所を巡りながらここにしかない「ポケふた」を見つけてください。ナッシーたちがあなたをお待ちしています。

ナッシーリゾート
in宮崎

<https://nassy.hinata-miyazaki.jp/> <https://local.pokemon.jp/manhole/>

宮崎県の各市町村



みやざきのうごき2024
2024年 6月発行
宮崎県
宮崎県ホームページ
<https://www.pref.miyazaki.lg.jp>